

(3)各ステージの内容

1【ファーストステージ（事前キャンプ）】出会いのステージ

ファーストステージのねらい

本キャンプに向けて、新しい仲間と共に協力して取り組んでいこうという意欲をもつ。

事前キャンプ（7月10日）

参加者・保護者説明会、仲間作り、野外炊事・登山講義



これから一緒に過ごす仲間と初対面ということもあり、参加者には不安や緊張の様子があがりましたが、仲間づくりの活動や、グループごとに一緒に野外炊事でカレーを作るうちに、少しずつ仲間と打ち解け楽しそうな表情が参加者の中にも増えていきました。

事前キャンプ（7月11日）

妙義山（自然の家～見晴台）登山



前日に行った登山講義をもとに、登山に関する安全を考えながら、ペース配分や危険箇所をグループ間で共有するための声かけをする姿が見られました。また、グループの仲間の体調や様子を気にしながら、励ます声も聞こえました。

2【セカンドステージ（本キャンプ）】仲間作りのステージ

セカンドステージのねらい

グループの仲間同士で、お互い励まし合い、支え合いながら登山に取り組もうという意識をもつ。

1日目（7月31日）

開会式、仲間作り、眼の調査①、野外炊事、登山講義



8日間過ごす仲間をもっと知るために、仲間づくりレクリエーションをしました。チームで話し合いながら、チームの目標と個人の目標を立て、チーム旗を作りました。夕食は、野外炊事でカレー作りをしました。その後は立てた目標をもとに1日のふりかえりをし、2日目の「榛名富士登山」に向けて、チームでコースや注意点の確認を行い、登山に対する意識・意欲を高めました。

3【サードステージ（本キャンプ）】挑戦のステージ

サードステージのねらい

目標に向かって、仲間と共に協力しながらやり遂げることで、最後まであきらめずに挑戦しようという気持ちと、自己と仲間との向き合い方について考えをもつ。

2日目（8月1日）

榛名富士登山



2日目は榛名富士登山を行いました。ビジターセンター～榛名湖畔～榛名富士山頂～ビジターセンターのおよそ6kmを踏破しました。交流の家に戻り、改めて今後の登山に向かう目標について話し合いを行うことで、自分の目標とグループの目標について改めて考えることができました。

3日目（8月2日）

野外炊事、レクリエーション、テント設営



3日目は、これまで着ていた服の洗濯をしました。昼食はグループの仲間と協力しながら、ピザとポトフを作りました。また、明日からの赤城山縦走に向けて、テント設営練習、登山ルートの確認や改めてグループの目標、個人の目標を確認し、意欲を高めることができました。

新型コロナウイルス感染症対策のポイント①

事業におけるコロナ対策として

- ① 「国立赤城青少年交流の家における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン（Ver. 8）」（事前キャンプ実施時点のガイドライン）を基に実施した。（国立赤城青少年交流の家HP参照）
- ② 参加者募集においては、人数を平成30年度21名、令和元年度では、23名が参加可能であったが、今年度は18人と限定した。
- ③ 参加者・スタッフ募集においては、募集時点での政府、各都道府県での新型コロナウイルス感染症による警戒度を十分に考慮しながら、募集する必要がある。また、参加が決定した場合でも、キャンプまでの期間の体調管理のお願いを行った。
- ④ 事前に参加者・スタッフの参加2週間から体温や健康管理をお願いし、健康管理票の記入・提出を行った。
- ⑤ 日程内の検温について、朝夕食前の検温を基本として毎日記入を行った。
- ⑥ 宿泊室は1人1部屋の確保、赤城山分校でのテント泊では1人1張を準備した。
- ⑦ 手指消毒用アルコールをグループに1つ配置した。